

## 第23回 安来市農業委員会議事録

令和4年5月23日 午後2時00分 第23回安来市農業委員会会議を安来市伯太庁舎会議室に招集する。

### 1. 出席委員

1 番	横山 芳明君	2 番	足立 仁行君	3 番	永塚 知芳君	4 番	北中 宏一君
5 番	木戸 芳己君	6 番	杉原 建君	7 番	武上 隆雄君	8 番	仲佐 久子君
10 番	安松 智君	11 番	新田 里恵君	12 番	塩見 秀雄君	13 番	板金 悟君
14 番	渡邊 克実君	15 番	佐々木吉茂君	16 番	岡田 一夫君	17 番	吉村 正君
18 番	齋藤 哲君	19 番	渡辺 和則君				

### 2. 欠席委員

9 番 北川 正幸君

### 3. 出席事務局

實重 昌宏君 名原 猛君 二岡 美保君

### 4. 議事案件

日程第 1	議事録署名委員の指名
日程第 2	会期の決定 令和4年5月23日 1日
日程第 3	議第 96号 農地法第2条の規定による非農地証明願について
日程第 4	議第 97号 農地法第3条の規定による許可申請について
日程第 5	議第 98号 農地法第4条の規定による許可申請について
日程第 6	議第 99号 農地法第5条の規定による許可申請について
日程第 7	議第100号 農用地利用集積計画の決定について
日程第 8	報第120号 農地法第3条の3第1項の規定による届出について
日程第 9	報第121号 農地法第18条第6項の規定による通知について
日程第 10	報第122号 公共事業に伴う農地一時転用の届出について
日程第 11	報第123号 認定電気通信事業者が行う中継施設等の設置に伴う農地転用届出について
日程第 12	報第124号 非農地判断の実施について

### 5. 議事

事務局：實重 昌宏君

定刻になりましたので、只今から第23回農業委員会を始めさせていただきますと思います。本日お手元に配布しております資料は、日程及び申請総括表であります。ご確認をお願いします。委員会の開会にあたりまして、岡田会長のあいさつをお願いいたします。

議長：岡田 一夫君

【あいさつ】

議長：岡田 一夫君

本日の会議について、事務局から報告願います。

事務局：實重 昌宏君

本日の会議ですが、農業委員会等に関する法律第27条第3項に基づき、定足数に達しておりますので第23回安来市農業委員会会議を開催いたします。

議 長：岡田 一夫君  
欠席委員はどなたですか？

事務局：實重 昌宏君  
9番 北川委員です。

議 長：岡田 一夫君  
それでは、日程第1 議事録署名委員の指名を議題といたします。議事録署名委員は、委員会会議規則第13条により11番 新田委員、12番 塩見委員を指名いたします。

議 長：岡田 一夫君  
日程第2 会期の決定 を議題とします。お諮りいたします。今会議は本日1日としたいと思います。これにご異議ありませんか。

【異議なしの声多数】

議 長：岡田 一夫君  
ご異議なしと認めます。よって会議は本日1日と決定いたしました。

議 長：岡田 一夫君  
日程第3 議第96号 農地法第2条の規定による非農地証明願について を議題とします。

議 長：岡田 一夫君  
事務局の説明を求めます。

事務局：名原 猛君  
2ページをご覧ください。このことについて、別紙のとおり非農地証明願の提出がありましたので審議を求めるものです。3ページに案件の内容、4ページから5ページに申請位置の地図をつけておりますのでご覧ください。今月の非農地証明願は、3件です。案件の詳細につきましては、後ほど現地調査班から報告していただきます。1番は、昭和47年の大雨により、当該地および背後地の山林崩壊が発生し耕作の継続が不可能となったため現在にいたるものです。非農地証明事務取扱基準の(3)やむを得ない事情によって長期間耕作放棄した土地のうち、農地として利用するには一定水準以上の物理的条件整備が必要な土地(人力又は農業用機械では耕起、整地ができない土地)であって、農業用利用を図るための条件整備(基盤整備事業の実施、企業参入のための条件整備等)が計画されていない土地のうち、その土地が森林の様相を呈しているなど農地に復元するための物理的な条件整備が著しく困難な場合に該当する土地であると考えます。2番も1番と同様、昭和47年の大雨により、当該地および背後地の山林崩壊が発生し耕作の継続が不可能となったため現在にいたるものです。非農地証明事務取扱基準の(3)やむを得ない事情によって長期間耕作放棄した土地のうち、農地として利用するには一定水準以上の物理的条件整備が必要な土地であって、農業用利用を図るための条件整備が計画されていない土地のうち、その土地が森林の様相を呈しているなど農地に復元するための物理的な条件整備が著しく困難な場合に該当する土地であると考えます。3番は、山中にある農地で耕作に必要な水も確保できず、日当たりも悪い上に農業機械が入らないことから40年以上前から不耕作の状態であり、現在にいたるものです。非農地証明事務取扱基準の(3)やむを得ない事情によって長期間耕作放棄した土地のうち、農地として利用するには一定水準以上の物理的条件整備が必要な土地であって、農業用利用を図るための条件整備が計画されていない土地のうち、その土地が森林の様相を呈しているなど農地に復元するための物理的な条件整備が著しく困難な場合に該当する土地であると考えます。以上です。

議長：岡田 一夫君

説明が終わりました。地元委員から申請場所の説明を求めます。1番と2番の案件について2番 足立委員お願いします。

2番 足立 仁行君

【地元委員より位置図にて場所説明】

議長：岡田 一夫君

続いて、3番の案件について13番 板金委員お願いします。

13番 板金 悟君

【地元委員より位置図にて場所説明】

議長：岡田 一夫君

次に、現地調査報告を1班5番 木戸委員お願いします。

5番 木戸 芳己君

5番 木戸です。今回は1班が報告させていただきます。5月20日、1時30分より伯太庁舎201会議室において、1班、班長木戸、岡田会長、吉村委員、板金委員、安松委員、杉原委員、足立委員1班全員と、事務局から實重局長、名原係長が出席いたしました。事務局より事前の概要説明を受け、現地に出向きました。非農地証明、1番案件の説明をさせていただきます。令和4年度より島根県の治山事業による林地荒廃防止工事が予定された土地で、雑木が茂っていて、急斜面でありまして、農地としては不適当な土地だと思っております。現地調査班は非農地判断という事で判断いたしました。皆さんの審議のほどよろしくをお願いします。次、2番案件の説明をさせていただきます。1番案件と隣接してまして、3筆の土地は隣接していますので一緒に報告いたします。1番案件と同様、令和4年度より島根県の治山事業による林地荒廃防止工事が予定されている土地で、雑木が茂っている急斜面の土地であります。3番案件ですけど、県道安来伯太日南線の旧道を上の方へ50m上ったところで、申請地には笹が茂っていますし、雑木もあり山林化されています。周囲は山林に囲まれた土地です。審議のほどよろしくをお願いいたします。

議長：岡田 一夫君

地元委員から補足がありましたら説明をお願いします。

議長：岡田 一夫君

説明が終わりました。1番の案件について質疑に入ります。質問のある方は発言をお願いします。

議長：岡田 一夫君

質疑がないようですので採決いたします。本件について提出原案のとおり賛成される方の挙手を求めます。

議長：岡田 一夫君

全員賛成ですので、この案件については適当と認めることで決定されました。

議長：岡田 一夫君

次に、2番の案件について質疑に入ります。質問のある方は発言をお願いします。

議長：岡田 一夫君

質疑がないようですので採決いたします。本件について提出原案のとおり賛成される方の挙手を求め

ます。

議 長：岡田 一夫君

全員賛成ですので、この案件については適当と認めることで決定されました。

議 長：岡田 一夫君

次に、3番の案件について質疑に入ります。質問のある方は発言をお願いします。

議 長：岡田 一夫君

質疑がないようですので採決いたします。本件について提出原案のとおり賛成される方の挙手を求めます。

議 長：岡田 一夫君

全員賛成ですので、この案件については適当と認めることで決定されました。

議 長：岡田 一夫君

日程第4 議第97号 農地法第3条の規定による許可申請について を議題とします。

議 長：岡田 一夫君

事務局の説明を求めます。

事務局：名原 猛君

6ページをご覧ください。このことについて、別紙のとおり農地法施行規則第10条の規定により申請書の提出がありましたので審議を求めるものです。続いて7ページに案件を掲載していますので、ご覧ください。今月の農地法第3条の許可申請は、2件で、すべて「所有権移転」に関する案件です。案件の詳細につきましては、後ほど地元委員から報告していただきます。1番は、経営拡大による所有権移転に関する案件で、農地法第3条第2項各号の規定に関する、全部効率利用要件、農作業従事状況要件、下限面積につきまして、許可基準を満たしています。通作距離 約10m農機具は、トラクター1台、田植機1台、コンバイン1台、乾燥機1台を所有しています。労働力は本人と父と母の3名となります。以上の点から許可要件のすべてを満たしております。この農地の対価は、XXXXXXXXXXです。2番は、受贈による所有権移転に関する案件で、農地法第3条第2項の規定に関しての要件は満たしています。当該農地を効率的に利用することができるかについては、通作距離 約5m農機具は、動力噴霧器1台、ビニールハウス2棟、循環扇8台、溶液土耕システム1台を所有しています。労働力は本人1名となります。以上の点から許可要件のすべてを満たしております。この農地の対価は、XXXXXXXXXXです。

議 長：岡田 一夫君

説明が終わりました。地元委員から説明を求めます。1番の案件について15番 佐々木委員 お願いします。

15番 佐々木 吉茂君

15番 佐々木です。番号1について説明いたします。この申請地は、譲受人の方が長い間、小作として管理をしておりました。この度、譲渡人の方がかなりの年だという事で、土地の整理をしたいという事から、長い間作ってもらっておった関係上、良い具合に譲受人と譲渡人の間で話がまとまりましたので、今回の申請となったものでございます。譲受人の方は2haに近い農地を意欲的に管理、運営しております。地域の中でも先導的な役割を果たしながら、頑張っておるところでもございますし、また、この農地自体がちょっと小高い山の上のようなところにありまして、周りを道路に囲まれており、四方

は崖、ちょっと隣の方に竹藪があるというようなことで、周りの農地に与える影響は今回の申請ではないと考えておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。

議 長：岡田 一夫君

2番の案件について2番 足立委員 お願いします。

2番 足立 仁行君

2番 足立です。2番案件について説明させていただきます。

譲受人はIターンで来られました、今、現在イチゴ栽培を行っておられる方で、昨年ここで審議していただきました、譲渡人から宅地を譲渡された方であります。現在、その宅地は家を建築中です。今回、この続きの三角形の土地ですけども、この農地をイチゴ栽培等の目的の申請と聞いております。周辺農地への障害はないと考えております。皆様のご審議のほどよろしくお願いいたします。以上です。

議 長：岡田 一夫君

説明が終わりました。1番の案件について質疑に入ります。質問のある方は発言をお願いします。

議 長：岡田 一夫君

質疑がないようですので採決いたします。本件について提出原案のとおり賛成される方の挙手を求めます。

議 長：岡田 一夫君

全員賛成ですので、この案件については適当と認めることで決定されました。

議 長：岡田 一夫君

次に、2番の案件について質疑に入ります。質問のある方は発言をお願いします。

議 長：岡田 一夫君

質疑がないようですので採決いたします。本件について提出原案のとおり賛成される方の挙手を求めます。

議 長：岡田 一夫君

全員賛成ですので、この案件については適当と認めることで決定されました。

議 長：岡田 一夫君

日程第5 議第98号 農地法第4条の規定による許可申請について を議題とします。

議 長：岡田 一夫君

事務局の説明を求めます。

事務局：名原 猛君

8ページをご覧ください。このことについて、別紙のとおり農地法施行規則第30条の規定により申請書の提出がありましたので審議を求めるものです。9ページに案件の内容、10ページに申請位置の地図をつけておりますのでご覧ください。今月の農地法第4条の許可申請は、1件です。案件の詳細につきましては、後ほど現地調査班から報告していただきます。1番は、農地の区分は、土地改良法第2条第2項に規定する事業で、土地改良事業等の施行に係る区域内にある農地であることから、第1種農地と判断しま

す。今回の申請地に関する土地改良事業とは、昭和43年度に完了した「団体営九重地区ほ場整備事業」のことです。転用目的は、駐車場・花壇です。本件はすでに一部を駐車場として利用されており追認案件となります。申請書には顛末書が添付されております。このたびの転用申請により、地目が畑であることがわかり、農地法の手続きがされていなかったこと判明しました。申請者が所有する土地は住宅敷地以外には本申請地のみであり、農地法の手続きが必要だという認識がなく、駐車場として使用していました。当時、農地転用申請が行われておれば許可適当となる案件であり、申請者についても過去に違反転用はなく、悪質性はないと考えます。[REDACTED] 自宅敷地は母屋と離れ及び庭園があり、自家用車を置くスペースがなく、また来客用の駐車スペースもないため4台分の駐車場と健康維持のため花壇を整備する計画です。申請地以外に土地もなく、やむを得ず本土地を選定されたものであります。これは、住宅その他申請に係る土地の周辺の地域において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で集落に接続して設置されるものであり、農地法施行規則第33条第4号に該当すると考えます。従って、農地の区分と転用目的、許可条項等については適当であると考えます。以上です。

議長：岡田 一夫君

説明が終わりました。地元委員から申請場所の説明を求めます。1番の案件について11番 新田委員 お願いします。

11番 新田 里恵君

【地元委員より位置図にて場所説明】

議長：岡田 一夫君

次に、現地調査報告を1班5番 木戸委員 お願いします。

5番 木戸 芳己君

5番 木戸です。農地法4条の1番案件の説明をさせていただきます。事務局から説明がありましたように、これは追認案件で、現在、市道と同じ高さで、駐車場と花壇が半々で使われております。現状のままで、汚水は発生せず、雨水については隣接する圃場の断面コンクリート水路に流れ、周囲には影響が無く、土地改良の意見書も添付されており、現地調査班としては妥当だと考えます。なお、顛末書も添付してあります。審議のほどよろしくお願いいたします。

議長：岡田 一夫君

地元委員から補足がありましたら説明をお願いします。

議長：岡田 一夫君

ないようですので、1番の案件について質疑に入ります。質問のある方は発言をお願いします。

議長：岡田 一夫君

質疑がないようですので採決いたします。本件について提出原案のとおり賛成される方の挙手を求めます。

議長：岡田 一夫君

全員賛成ですので、この案件については適当と認めることで決定されました。

議長：岡田 一夫君

日程第6 議第99号 農地法第5条の規定による許可申請について を議題とします。

議長：岡田 一夫君

事務局の説明を求めます。

事務局：名原 猛君

11ページをご覧ください。このことについて、別紙のとおり農地法施行規則第57条の4の規定により申請書の提出がありましたので審議を求めるものです。12ページに案件の内容、13ページから16ページに申請位置の地図をつけておりますのでご覧ください。今月の農地法第5条の許可申請は、4件です。案件の詳細につきましては、後ほど現地調査班から報告していただきます。1番は、農地の区分は、概ね10ha以上の規模の一団の農地の区域内にある農地で第1種農地と判断します。転用目的は、植木・育成及び庭石展示場で権利の種類は所有権の移転です。本件はすでに植木・育成及び庭石展示場として利用されており追認案件となります。申請書には顛末書が添付されております。譲受人は長年にわたり伯太町安田地内で造園業を営んでいます。譲渡人は譲受人の代表取締役の父であります。このたび土地を整理していた際に、地目が田であることがわかり、農地法の手続きがされていなかったことが判明しました。当該地はすでに植木・育成及び庭石展示場になっており、過去に農地転用の手続きがなされているか調べたところ、未手続であることがわかりました。平成元年より樹木育苗用の農地として耕作していましたが、需要がなくなり樹木が成長し、現在に至っております。その後、農地法によって農地利用が制限されていることを感知しておらず、そのまま展示スペースとして利用していました。当時、農地転用申請が行われておれば許可適当となる案件であり、申請者についても過去に違反転用はなく、悪質性はないと考えます。譲受人は、従業員2名を雇用する造園業を営んでおり、このたび植木・育成及び庭石展示場として転用及び法人名へ所有権移転をするものです。これは、住宅その他申請に係る土地の周辺の地域において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で集落に接続して設置されるものであり、農地法施行規則第33条第4号に該当すると考えます。従って、農地の区分と転用目的、許可条項等については適当であると考えます。この農地の対価は、■■■■です。2番は、農地の区分は、農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性の低い農地であることから第2種農地と判断します。転用目的は、太陽光発電設備です。権利の種類は、所有権の移転です。譲受人は、太陽光発電事業を行う法人です。安来市内で太陽光発電事業を計画し、農地以外の適地を探しましたが見つからず、譲渡人の了解が得られたため、分断等周辺農地の営農に与える影響のない本申請地に、太陽光発電設備を設置するものです。太陽光発電の第2種農地の転用については、代替性の無いことが許可基準となっており、①当該申請に係る事業目的、事業面積、立地場所等を勘案し、申請地の周辺に当該事業目的を達成することが可能な農地以外の土地や第3種農地があるか否か、②その土地を申請者が転用許可申請に係る事業目的に使用することが可能か否か等により行うこととされています。譲受人は、申請において5箇所の農地以外の土地との申請地の比較評価を行った資料を提出しています。これは、申請地以外では、その目的が達成できないことから、農地法第5条第2項第2号に該当すると考えます。従って、農地の区分と転用目的、許可条項等については適当であると考えます。この農地の対価は、■■■■です。3番は、農地の区分は、概ね10ha以上の規模の一団の農地の区域内にある農地で第1種農地と判断します。転用の目的は、個人住宅で権利の種類は使用貸借権の設定です。譲受人は土地所有者の長男であり、農業後継者です。現在土地所有者とその母、弟の4人家族で、既存の住宅では手狭になっているため、市道挟んで向かい側の土地に住宅を新築するものです。自宅敷地には、住宅を建築する余裕がなく、また隣接の西側農地には進上路もなく耕作ができない状態が続いており、市道と隣接する宅地を含めて進上路も設けることで耕作放棄地の解消にもなるため当該地を選定したものであります。これは、住宅その他申請に係る土地の周辺の地域において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で集落に接続して設置されるものであり、農地法施行規則第33条第4号に該当すると考えます。従って、農地の区分と転用目的、許可条項等については適当であると考えます。この農地の対価は、■■■■です。4番は、農地の区分は、概ね10ha以上の規模の一団の農地の区域内にある農地で第1種農地と判断します。転用の目的は、個人住宅で権利の種類は使用貸借権の設定です。譲受人は現在、妻と子供1人の3人家族で車を2台所有しております。このたび既存の住宅が手狭になったため住宅を建築することを計画しました。申請人の実家には同居するだけの広さがなく、実家に近い所で土地を探していまし

たが、本申請農地以外の土地が見つからず、やむを得ず選定したものであります。これは、住宅その他申請に係る土地の周辺の地域において居住する者の日常生活上又は業務上必要な施設で集落に接続して設置されるものであり、農地法施行規則第33条第4号に該当すると考えます。従って、農地の区分と転用目的、許可条項等については適当であると考えます。この農地の対価は、■■■■です。以上です。

議長：岡田 一夫君

説明が終わりました。地元委員から申請場所の説明を求めます。1番の案件について4番 北中委員 お願いします。

4番 北中 宏一君

【地元委員より位置図にて場所説明】

議長：岡田 一夫君

2番と3番の案件について14番 渡邊委員 お願いします。

14番 渡邊 克実君

【地元委員より位置図にて場所説明】

議長：岡田 一夫君

4番の案件について11番 新田委員 お願いします。

11番 新田 里恵君

【地元委員より位置図にて場所説明】

議長：岡田 一夫君

次に、現地調査報告を1班5番木戸委員 お願いします。

5番 木戸 芳己君

5番 木戸です。農地法第5条案件の1番の報告をさせていただきます。事務局からの説明がありました通り追認案件でございます。申請地■■■■は同様の形態ですので、一緒に報告させていただきます。市道に面した場所であり、道路側溝があります。外周は土地改良事業の土地でございます。そこに3面コンクリート水路があり、雨水は自然とその水路に処理されております。汚水は発生いたしません。周囲に影響はないと思われます。土地改良の意見書、隣接者の同意が添付されており、現地調査班としては妥当だと判断しました。審議のほどよろしくお願いします。2番案件について説明させていただきます。畑を整地し太陽光発電設備として、パネル168枚を設置します。原則として現状のまま使用する予定です。雨水処理は自然流下及び隣接水路に流します。周囲に影響はないものと思われます。現地調査班としては妥当と判断しました。審議のほどよろしくお願いします。3番案件の報告をいたします。申請地■■■■、現況、畑の東側にあった既存の農業倉庫を取り壊し、東側にある土地と申請地を一体として利用する予定です。申請地は若干、既存の宅地よりも低いために、20～30cm埋め立て、整地をして個人住宅と農業用倉庫を建設、北側部分を市道から西側、■■■■、田んぼへ耕作に行く進入路を作ります。汚水については合併浄化槽により市道の地下を通し、市道既存側溝に排水、雨水については集水桝を設け、暗渠パイプを設置して市道を通して既存側溝に排出します。この事業により周囲に影響はなく、土地改良の意見書、隣接者の同意が添付されており、現地調査班としては妥当だと考えます。審議のほどよろしく願いいたします。4番案件について報告いたします。現在、畑で、整地のみで、大きな造成はありません。下水については県道米子広瀬線にある集落排水に接続し、雨水は北側、既存水路、東側、法面処理、西側、道路側溝を設ける予定です。周囲に影響はないと思われます。居宅木造平屋建て1棟、車2台の駐車場を設け、土地改良の意見書、隣接者の



同意が得られており、現地調査班としては許可妥当だと考えます。審議のほどよろしく願いいたします。

議 長：岡田 一夫君  
地元委員から補足がありましたら説明をお願いします。

議 長：岡田 一夫君  
ないようですので、1 番の案件について質疑に入ります。質問のある方は発言をお願いします。

議 長：岡田 一夫君  
質疑がないようですので採決いたします。本件について提出原案のとおり賛成される方の挙手を求めます。

議 長：岡田 一夫君  
全員賛成ですので、この案件については適当と認めることで決定されました。

議 長：岡田 一夫君  
次に、2 番の案件について質疑に入ります。質問のある方は発言をお願いします。

議 長：岡田 一夫君  
質疑がないようですので採決いたします。本件について提出原案のとおり賛成される方の挙手を求めます。

議 長：岡田 一夫君  
全員賛成ですので、この案件については適当と認めることで決定されました。

議 長：岡田 一夫君  
次に、3 番の案件について質疑に入ります。質問のある方は発言をお願いします。

議 長：岡田 一夫君  
質疑がないようですので採決いたします。本件について提出原案のとおり賛成される方の挙手を求めます。

議 長：岡田 一夫君  
全員賛成ですので、この案件については適当と認めることで決定されました。

議 長：岡田 一夫君  
次に、4 番の案件について質疑に入ります。質問のある方は発言をお願いします。

議 長：岡田 一夫君  
質疑がないようですので採決いたします。本件について提出原案のとおり賛成される方の挙手を求めます。

議 長：岡田 一夫君  
全員賛成ですので、この案件については適当と認めることで決定されました。

議長：岡田 一夫君

日程第7 議第100号 農用地利用集積計画の決定について を議題とします。

議長：岡田 一夫君

事務局の説明を求めます。

事務局：名原 猛君

17ページをご覧ください。このことについて、別紙のとおり決定依頼がありましたので農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定により審議を求めるものです。計画要請につきましては、20ページ下段の表の「利用集積計画件数、面積」の欄をご覧ください。今月は、賃借権9件、面積15,941㎡、使用貸借権11件、9,312㎡、全体で20件、総面積が25,253㎡となっています。詳細につきましては、農林振興課から説明があります。以上です。

農林振興課 井上 幸雄君

失礼いたします。詳細につきましてご説明させていただきます。21ページからになります。今月の利用集積計画ですが、番号1から8番が利用権設定となっております。4番、5番については、認定新規就農者の利用集積で、8番については農地所有適格法人以外の法人の利用集積となっております。いずれも、経営面積、従事日数など農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしております。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

議長：岡田 一夫君

説明が終わりました。それでは質疑に入ります。質問のある方は発言をお願いします。

議長：岡田 一夫君

質疑がないようですので採決いたします。本件について提出原案のとおり賛成される方の挙手を求めます。

議長：岡田 一夫君

全員賛成ですので、この案件については適当と認めることで決定されました。

議長：岡田 一夫君

日程第8 報第120号 農地法第3条の3第1項の規定による届出について を議題とします。

議長：岡田 一夫君

事務局の説明を求めます。

事務局：名原 猛君

23ページをご覧ください。このことについて、別紙のとおり農地法施行規則第21条の規定による届出書の提出がありましたので報告するものです。24ページから25ページに届出内容載せていますのでご覧ください。今月の届出については、2件で、全て相続です。以上です。

議長：岡田 一夫君

この案件については、報告事項ですので以上とします。

議長：岡田 一夫君

日程第9 報第121号 農地法第18条第6項の規定による通知について を議題とします。

議 長：岡田 一夫君  
事務局の説明を求めます。

事務局：名原 猛君  
26ページをご覧ください。このことについて、別紙のとおり農地法第18条第6項の規定による合意解約通知書の提出がありましたので報告するものです。27ページに案件を掲載していますので、ご覧ください。今月の農地法第18条の規定による解約については、1件で、農業経営基盤強化促進法による賃貸借の解約です。以上です。

議 長：岡田 一夫君  
この案件については、報告事項ですので以上とします。

議 長：岡田 一夫君  
日程第10 報第122号 公共事業に伴う農地一時転用の届出について を議題とします。

議 長：岡田 一夫君  
事務局の説明を求めます。

事務局：名原 猛君  
28ページをご覧ください。このことについて、別紙のとおり農地法施行規則第53条の規定による農地の一時転用の届出書の提出がありましたので報告するものです。29ページに届出内容を載せていますのでご覧ください。今月の公共事業に伴う農地一時転用に係る届出は1件で、島根県松江県土整備事務所長、担当部署農林工務部ほ場整備第二課より届出があったものです。事業名は、「宇賀荘第三地区農地整備事業（経営体育成型）」で、令和4年4月15日から令和5年3月31日までです。終了後は農地に復元されます。以上です。

議 長：岡田 一夫君  
この案件については、報告事項ですので以上とします。

議 長：岡田 一夫君  
日程第11 報第123号 認定電気通信事業者が行う中継施設等の設置に伴う農地転用届出について を議題とします。

議 長：岡田 一夫君  
事務局の説明を求めます。

事務局：名原 猛君  
30ページをご覧ください。このことについて、別紙のとおり農地法施行規則第53条の規定による届出書の提出がありましたので報告するものです。31ページに届出内容を載せていますのでご覧ください。今月の届出は1件で、楽天モバイルによる携帯電話無線基地局の設置1件です。以上です。

議 長：岡田 一夫君  
この案件については、報告事項ですので以上とします。

議 長：岡田 一夫君  
日程第12 報第124号 非農地判断の実施について を議題とします。

議 長：岡田 一夫君

事務局の説明を求めます。

事務局：名原 猛君

32ページをご覧ください。このことについて、別紙のとおり非農地判断を実施したので報告するものです。33ページから34ページに非農地判断を実施した農地の一覧を掲載していますのでご覧ください。農地利用状況調査により荒廃しているとされた農地のうち、山中若しくは山沿いにある農地から200筆を抽出し、令和4年1月31日に農地対策委員会において確認しました。その結果、農地利用状況調査により荒廃しているとされた農地200筆、面積93,191.61㎡をこのたび、非農地と判断しました。今回、非農地と判断した農地については、当該農地の所有者、相続未登記の場合は、固定資産税の納税義務者へ「非農地判断のお知らせ」を送付します。並行して、関係機関である島根県、安来市農林振興課、税務課、土地改良区及び松江地方法務局へ一覧表及び写真などを送付します。送付は、5月中を予定しています。以上です。

議 長：岡田 一夫君

この案件については、報告事項ですので以上とします。

議 長：岡田 一夫君

本日の議案の審議は全て終わりました。以上で第23回安来市農業委員会会議を閉会します。

(午後 3時00分)